

志教育の視点	☑かかわる ・ ☑もとめる ・ ☑はたす
--------	----------------------

活動名	地域連携及び地域交流
教科・領域等	農業「農業と環境」、農業クラブ活動
活動学年等	2年次（農業選択生徒）
ねらい	販売実習、花壇植栽、農業施設見学など地元の方々と交流することにより、地域農業の現状と課題を知り、農業の必要性と地元の方々からの期待度を感じ、社会性や自主性を養い、将来地域に有用な人材を育成する。

【実践内容】

〔今年度の主な活動〕

- 地域花壇の植栽（5月・11月） ○野菜草花苗の販売会（5月上旬） ○地域農業学習（6月・11月）
- 気仙沼合同庁舎販売会（8月） ○農産物販売会（10月文化祭） ○シクラメン販売会（12月）

〔主な活動内容〕

1 植栽活動

本校では5月と11月の年2回、JR本吉駅前と本吉支所前花壇の植栽を行っている。1年を通して季節の花々が見られるように、春はマリーゴールド、サルビア、ジニア等の色とりどりの花を配色など考えのデザイン性も意識しながら丁寧に植栽している。植栽活動中には地域の方から声をかけていただき、本校で手入れしている花壇が地元の方に親しまれていることを実感できる。

2 野菜・草花苗の販売

5月上旬に野菜・草花苗の販売会を行っている。この行事は長年行われている伝統の行事で待ち望んでいる方も多い。あいにくの雨模様だったが昨年度より多くの方が買いに来てくれ、地域の方から期待されていることを実感した。栽培方法や収穫物の利用方法などの質問を受け、それに答えることで地域の方との交流とともに日頃の学習成果が発揮できる行事である。

3 地域農業学習

本校では年2回、気仙沼農業改良普及センターの主催の「みやぎ農業未来塾」として地域農業学習を行っている。学校での学習をさらに深めるものや学習できない作物など、地域農家に出向いてより専門的な学習を行う。今年度は6月に南三陸町でシャインマスカットを栽培している農家に出向き「ぶどうの摘粒」体験をさせていただいた。摘粒は完成を見越して行う非常に重要な作業である。それらを体験させてもらうことで高度な農業生産技術を学ぶことができた。

11月にはイチゴ農家に出向いて、「イチゴのランナー摘み」を体験させてもらった。イチゴ生産は気仙沼でも盛んで震災後に多くの農家が生産している。地域の特産であるイチゴの栽培技術を学ぶことで、学校では学べない技術と地域特産物について知ることができた。

4 農産物販売会

11月に行われる文化祭では、本校農場で収穫した多くの種類の農産物を販売する。販売時間前からたくさんの方が並んでいる姿を見ると、本校が地域の方から期待されていることが分かる。私たちも、期待に応えられるようお客さんとのコミュニケーションを大事にしながら丁寧な接客を心がけている。

5 気仙沼合同庁舎販売会

8月に気仙沼地方振興事務所主催の合同庁舎販売会に参加させていただいた。合同庁舎のロビーで来庁者や合同庁舎職員の方に本吉響高校農業科の活動をPRした。職員の方からは農産物の栽培方法やその特性、調理方法、さらには日々の学習など聞かれ、多くの方に本吉響高校を知ってもらう機会となった。

【活動の様子】



本吉支所前花壇植栽



本吉駅前花壇植



地域農業学習(シャインマスカットの摘粒)



地域農業学習(イチゴ栽培学習)



気仙沼合同庁舎販売会



農産物販売会(文化祭)